

日本映画史研究(2)

——東宝映画50年の歩み(1)——

昨年、フィルムセンターで企画上映された《日本映画史研究(1)——東宝映画30年の歩み》は、製作会社別の特集番組を構成することによって、これまで上映されてきた監督、俳優、国、時代相あるいはジャンル別等の角度では考察できない部分を補うことができ好評であった。本年度はその第2回として《東宝映画50年の歩み》を取り上げることにした。

1932年に設立された写真化学研究所は、トーキー時代を迎えた日本映画界で独自のトーキー技術開発を旨とした。翌33年には英字イニシャルを社名にしたP.C.L映画製作所が設立され、このP.C.Lとすでに32年に京都に設立されていたJ.O.スタジオの両社が製作した映画を配給する東宝映画配給株式会社が36年に設立されたが、さらに今井プロや東京発声をも含めた東宝映画株式会社が1937年に発足した。東宝映画は近代的製作機構と合理的経営を旨とし、それまでの日本映画界の前近代的経営や監督・スター中心主義の製作を廃したハリウッド映画風の《プロデューサー・システム》を導入し、松竹と日活の二大勢力に果敢に戦いを挑んだ。東宝映画は都会的な洗練された現代劇を中心に、時代劇の分野にも新風を吹きこみ、また特殊撮影技術を駆使したスペクタクル作品でもその特色をうち出した。戦後も、東宝映画はサラリーマンものや軽快なコメディ、ミュージカル風の作品にその特色をみせ、また《怪獣もの》などでは戦前からつちかわれた特撮技術も大いに発揮し、今日まで数々の名作、娯楽大作を提供してきた。

今回、フィルムセンターでは東宝映画の50周年にあたり、P.C.Lの第一作である「ほろよひ人生」から近年までの、東宝映画の特色を最も発揮した代表作をできる限り網羅して連続上映し、東宝映画が日本映画史に残した足跡を回顧することにした。

広く映画を研究し愛好する皆様の御観賞をお勧めいたします。

1982年9月 フィルムセンター

■開館は午後1時で先着順にて定員239名に達し次第締め切ります。1回目の上映が満員締め切りの場合、上映後に全館入れ替えとなります。

■平日は午後3時と6時15分の2回上映、土曜日は午後1時30分より1回のみ上映いたします。

■休館は日曜・祝日および10月23日(土)、11月11日(木)・20日(土)、12月17日(金)・18日(木)です。

■10月9日(土)、11月6日(土)、12月4日(土)は午後4時より《短篇・文化・記録映画特集》を上映いたします(詳細は当該チラシ参照)。

●印の12月24日(金)「青い山脈」の開映は1時30分・5時30分となります。

●東宝映画50年の歩み(2)は来年の1月6日(木)から2月19日(土)まで開催されます。

一般250円・学生140円・小人100円

期 日	題 名	製作年	監督	出 演 者
10月4日(月)	ほろよひ人生(77分)	P.C.L・1933年	木村莊十二	千葉早智子、藤原釜足、大川平八郎、堤真佐子
5日(火)	坊っちゃん(82分)	〃・1935年	山本嘉次郎	宇留木浩、徳川夢声、丸山定夫、夏目初子
6日(水)	彦六だいに笑ふ(70分)	〃・1936年	木村莊十二	徳川夢声、丸山定夫、堤真佐子、英百合子
7日(木)	戦国群盗伝・総集編(99分)	〃・1937年	滝沢英輔	河原崎長十郎、山岸しづ江、中村靉右衛門、千葉早智子
8日(金)	からゆきさん(59分)	〃	木村莊十二	入江たか子、北沢彪、丸山定夫、滋野ロジェー
9日(土)	妻よ薔薇のやうに(75分)	〃・1935年	成瀬巳喜男	千葉早智子、丸山定夫、英百合子、伊藤智子
12日(火)	エノケンのちゃっきり金太・総集編(75分)	〃・1937年	山本嘉次郎	榎本健一、中村是好、如月寛多、市川圭子
13日(水)	阿部一族(103分)	東宝・1938年	熊谷久虎	河原崎長十郎、山岸しづ江、中村靉右衛門、橘小三郎
14日(木)	巨人伝(67分)	〃	伊丹万作	大河内伝次郎、原節子、丸山定夫、佐山亮
15日(金)	田園交響楽(97分)	〃	山本薩夫	高田稔、原節子、佐山亮、清川玉枝
16日(土)	花ちりぬ(75分)	〃	石田民三	花井蘭子、江島瑠美、三條利喜江、堀越節子
18日(月)	エノケンの法界坊(74分)	〃	斎藤寅次郎	榎本健一、小笠原章二郎、宏川光子
19日(火)	鶯(73分)	東京発声・〃	豊田四郎	霧立のぼる、堤真佐子、御橋公、杉村春子
20日(水)	むかしの歌(77分)	東宝・1939年	石田民三	花井蘭子、山根寿子、藤尾純、進藤英太郎
21日(木)	エノケンの頑張り戦術(73分)	〃	中川信夫	榎本健一、如月寛多、渋谷正代、音羽久米子
22日(金)	新篇 丹下左膳・隻眼の巻(63分)	〃	中川信夫	大河内伝次郎、高峰秀子、岸井明、山田五十鈴
25日(月)	支那の夜・総集篇(127分)	〃・1940年	伏水修	長谷川一夫、李香蘭、服部富子、藤原鶏太
26日(火)	燃ゆる大空(短縮版98分)	〃	阿部豊	大日方伝、月田一郎、大川平八郎、灰田勝彦
27日(水)	孫悟空・前後篇(140分)	〃	山本嘉次郎	榎本健一、花井蘭子、李香蘭、岸井明
28日(木)	昨日消えた男(88分)	〃・1941年	マキノ正博	長谷川一夫、山田五十鈴、高峰秀子、徳川夢声
29日(金)	馬(127分)	〃	山本嘉次郎	高峰秀子、藤原鶏太、竹久千恵子、丸山定夫
30日(土)	上海陸戦隊(89分)	〃・1939年	熊谷久虎	大日方伝、原節子、椿澄枝、佐伯秀男
11月1日(月)	秀子の車掌さん(65分)	南旺映画・1941年	成瀬巳喜男	高峰秀子、藤原鶏太、夏川大二郎、清川玉枝
2日(火)	南海の花束(106分)	東宝・1942年	阿部豊	大日方伝、河津清三郎、大川平八郎、真木順
4日(木)	婦系図・総集篇(107分)	〃	マキノ正博	長谷川一夫、山田五十鈴、高峰秀子、古川緑波
5日(金)	ハワイ・マレー沖海戦(118分)	〃	山本嘉次郎	大河内伝次郎、黒川弥太郎、原節子、伊東薫
6日(土)	闘魚(123分)	〃・1941年	島津保次郎	高田稔、里見藍子、池部良、灰田勝彦
8日(月)	伊那の勘太郎(67分)	〃・1943年	滝沢英輔	長谷川一夫、山田五十鈴、竹久千恵子、黒川弥太郎
9日(火)	姿三四郎(77分)	〃	黒沢明	藤田進、大河内伝次郎、轟夕起子、月形龍之介
10日(水)	東京五人男(84分)	〃・1945年	斎藤寅次郎	古川緑波、石田一松、横山エンタツ、花菱アチャコ
11月12日(金)~12月16日(木)は「現代イギリス映画の展望」を上映いたします。				
12月20日(月)	虎の尾を踏む男達(60分)	東宝・1945年	黒沢明	大河内伝次郎、榎本健一、岩井半四郎、志村喬
21日(火)	銀嶺の果て(87分)	〃・1947年	谷口千吉	志村喬、小杉義男、三船敏郎、河野秋武
22日(水)	女優(112分)	〃	衣笠貞之助	山田五十鈴、河野秋武、伊豆肇、志村喬
23日(木)	女の一生(100分)	藤本プロ・1949年	亀井文夫	岸旗江、沼崎勲、志村喬、三島雅夫
24日(金)	*青い山脈・前後篇(181分)	〃	} 今井正	{ 原節子、池部良、伊豆肇、木暮実千代 龍崎一郎、若山セツコ、杉葉子
25日(土)	〃	〃		

日本映画史研究(2)

—東宝映画50年の歩み(2)—

昨年、フィルムセンターで企画上映された《日本映画史研究(1)—東宝映画30年の歩み》は、製作会社別の特集番組を構成することによって、これまで上映されてきた監督、俳優、国、時代相あるいはジャンル別等の角度では考察できない部分を補うことができ好評であった。本年度はその第2回として《東宝映画50年の歩み》を取り上げることにして、その第1回を去る10月から実施した。

1932年に設立された写真化学研究所は、トーキー時代を迎えた日本映画界で独自のトーキー技術開発を目ざした。翌33年には英字インシヤルを社名にしたP.C.L映画製作所が設立され、このP.C.Lとすでに32年に京都に設立されていたJ.O.スタジオの両社が製作した映画を配給する東宝映画配給株式会社が36年に設立されたが、さらに今井プロや東京発声をも含めた東宝映画株式会社が1937年に発足した。東宝映画は近代的製作機構と合理的経営を目ざし、それまでの日本映画界の前近代的経営や監督・スター中心主義の製作を廃したハリウッド映画風の〈プロデューサー・システム〉を導入し、松竹と日活の二大勢力に果敢に戦いを挑んだ。東宝映画は都会的な洗練された現代劇を中心に、時代劇の分野にも新風を吹きこみ、また特殊撮影技術を駆使したスペクタクル作品でもその特色をうち出した。戦後も、東宝映画はサラリーマンものや軽快なコメディ、ミュージカル風の作品にその特色をみせ、また〈怪獣もの〉などでは戦前からつちかわれた特撮技術も大いに発揮し、今日まで数々の名作、娯楽大作を提供してきた。

82年秋からの〈東宝映画50年の歩み(1)〉に引き続き、第2期として東宝映画の特色を最も発揮した代表作をできる限り網羅して連続上映し、東宝映画が日本映画史に残した足跡を回顧することにした。

広く映画を研究し愛好する皆様の御観賞をお勧めいたします。

1982年12月 フィルムセンター

■開館は午後1時で先着順にて定員239名に達し次第締め切ります。1回目の上映が満員締め切りの場合、上映後に全館入れ替えとなります。

■平日は午後3時と6時15分の2回上映、土曜日は午後1時30分より1回のみ上映いたします。

■休館は日曜・祝日および1月22日(土)、2月12日(土)です。

■1月8日(土)、2月5日(土)は午後4時より《短篇・文化・記録映画特集》を上映いたします(詳細は当該チラシ参照)。

一般250円・学生140円・小人100円

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
1月6日(木)	夫婦(86分)	1953年	成瀬巳喜男	上原謙、杉葉子、三国連太郎、岡田茉莉子
7日(金)	プーサン(97分)	〃	市川 崑	伊藤雄之助、越路吹雪、小林桂樹、八千草薫
8日(土)	三等重役(98分)	1952年	春原 政久	河村黎吉、森繁久弥、越路吹雪、小林桂樹
10日(月)	太平洋の鷲(118分)	1953年	本多猪四郎	大河内伝次郎、志村喬、三船敏郎、小林桂樹
11日(火)	潮騒(96分)	1954年	谷口千吉	久保明、青山京子、太刀川洋一、宮桂子
12日(水)	透明人間(70分)	〃	小田基義	河津清三郎、三條美紀、高田稔、近藤圭子
13日(木)	泉への道(92分)	1955年	筧 正典	有馬稲子、根上淳、高峰三枝子、若山セツ子
14日(金)	麦笛(103分)	〃	豊田 四郎	久保明、青山京子、越路吹雪、太刀川洋一
17日(月)	男ありて(109分)	〃	丸山 誠治	志村喬、岡田茉莉子、夏川静江、三船敏郎
18日(火)	渡り鳥いつ帰る(130分)	〃	久松 静児	高峰秀子、田中絹代、森繁久弥、岡田茉莉子
19日(水)	あすなろ物語(108分)	〃	堀川 弘通	久保明、岡田茉莉子、根岸明美、久我美子
20日(木)	ジャンケン娘(92分)	〃	杉江 敏男	美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみ、山田真二
21日(金)	へそくり社長(83分)	1956年	千葉 泰樹	森繁久弥、司葉子、小林桂樹、越路吹雪
24日(月)	{ 鬼火(46分) 象(66分)	〃	千葉 泰樹	津島恵子、加東大介、中田康子、宮口精二
25日(火)	サザエさん(86分)	1957年	山本嘉次郎	榎本健一、河内桃子、小林桂樹、安西郷子
26日(水)	ラドン(82分)	1956年	青柳 信雄	江利チエミ、清川虹子、藤原釜足、柳家金語楼
27・28日(木・金)	蜘蛛巣城(109分)	1957年	黒沢 明	三船敏郎、山田五十鈴、志村喬、浪花千栄子
29日(土)	嵐(108分)	1956年	稲垣 浩	笠智衆、田中絹代、雪村いづみ、久保明
31日(月)	大番(118分)	1957年	千葉 泰樹	加東大介、淡島千景、原節子、三木のり平
2月1日(火)	女殺し油地獄(99分)	1958年	堀川 弘通	中村扇雀、新珠三千代、中村鴈治郎、香川京子
2日(水)	ぶっつけ本番(99分)	〃	佐伯 幸三	フランキー堺、淡島千景、仲代達矢、吉行和子
3日(木)	貸間あり(112分)	1959年	川島 雄三	フランキー堺、淡島千景、乙羽信子、浪花千栄子
4日(金)	野獣死すべし(95分)	〃	須川 栄三	仲代達矢、佐藤允、小泉博、白川由美、団令子
5日(土)	大学のお姐ちゃん(92分)	〃	杉江 敏男	団令子、中島そのみ、重山規子、久保明
7日(月)	電送人間(85分)	1960年	福田 純	鶴田浩二、平田昭彦、白川由美、土屋嘉男
8日(火)	太平洋の嵐(118分)	〃	松林 宗恵	夏木陽介、小林桂樹、上原美佐、佐藤允、鶴田浩二
9日(水)	ガス人間第一号(91分)	〃	本多猪四郎	三橋達也、八千草薫、伊藤久哉、土屋嘉男
10日(木)	顔役晩年に死す(96分)	1961年	岡本 喜八	加山雄三、水野久美、中丸忠雄、島崎雪子
14日(月)	世界大戦争(110分)	〃	松林 宗恵	フランキー堺、星由里子、宝田明、白川由美
15日(火)	二人の息子(93分)	〃	千葉 泰樹	宝田明、加山雄三、藤山陽子、白川由美、浜美枝
16日(水)	喜劇 駅前弁当(88分)	〃	久松 静児	森繁久弥、伴淳三郎、淡島千景、フランキー堺
17日(木)	青島要塞爆撃命令(99分)	1963年	古沢 憲吾	加山雄三、夏木陽介、浜美枝、佐藤允、池部良
18日(金)	独立機関銃隊未だ射撃中(92分)	〃	谷口千吉	三橋達也、夏木陽介、佐藤允、堺左千夫
19日(土)	キスカ(104分)	1965年	丸山 誠治	三船敏郎、山村聡、志村喬、佐藤允、西村晃
21日(月)	江分利満氏の優雅な生活(102分)	1963年	岡本 喜八	小林桂樹、新珠三千代、江原達怡、田村幸美
22日(火)	ホラ吹き太閤記(97分)	1964年	古沢 憲吾	植木等、ハナ肇、草笛光子、谷啓、青島幸男
23日(水)	喜劇 駅前漫画(94分)	1966年	佐伯 幸三	森繁久弥、伴淳三郎、池内淳子、フランキー堺
24日(木)	ゼロ・ファイター 大空戦(91分)	〃	森谷 司郎	加山雄三、佐藤允、千秋実、久保明、中丸忠雄
25日(金)	あこがれ(85分)	〃	恩地日出夫	内藤洋子、新珠三千代、田村亮、小沢昭一